

三木市記者発表資料 (令和4年6月7日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
産業振興部 商工振興課	課長 小山智史 (内線 2230)	かなもの振興係	0794-82-2000 (内線 2233)

タイトル
「令和4年度三木金物ニューハードウェア賞」を認定 ～ 8年ぶりのグランプリが誕生～
内容
<p>5月20日(金)、三木市金物振興審議会において令和4年度三木金物ニューハードウェア賞認定審査を行い、12点の製品が認定されました。</p> <p>1 目的 三木金物ニューハードウェア賞認定製品に対し助成金を交付することにより、三木金物の新製品の研究意欲を高揚し、三木金物産業の振興を図ることを目的としています。</p> <p>2 審査結果の概要 (1) 申請点数 8社14点 (2) 審査項目 新規性・機能性・市場性・デザイン性 (3) 結果 グランプリ1点、金賞1点、ニューハードウェア賞10点(うち、デザイン特別賞3点) 詳細は別紙一覧表のとおり</p> <p>3 入賞した製品のPR (1) パンフレットの作成・発送 市内金物卸商、全国三木金物取扱店(約3,000社)、ジェトロなど関係各機関 (2) 製品展示 ア 常設展示(4カ所予定) みっきいホール(市役所)、金物資料館、 三木商工会館(写真展示)、道の駅みき(写真展示) イ 各種見本市、催し物会場展示 JAPAN DIY HOMECENTER SHOW2022(幕張メッセ) [8月25日(木)～27日(土)] 第12回ツールジャパン(幕張メッセ) [10月12日(水)～14日(金)] ※新型コロナウイルス感染症の影響で製品展示については変更になる可能性があります。</p>
セールスポイント
<p>このたび、8年ぶりにグランプリが誕生しました。 グランプリに輝いた『アンカー後施工用ドリル』は、“建築時の基礎土台をはめ込んだままアンカーボルトの通り穴を修正したい”という工務店の要望を独自の技術力で実現した製品です。建築現場における困りごとを柔軟な発想と技術力で克服した結果、今までに見たこともないドリル形状として結実した点が、まさに新たな“価値の創造である”として評価されました。</p>